

「やぶきた」二番茶後の深刈り時期に適した整枝時期	分類	普及情報
〔要約〕「やぶきた」では、二番茶後の深刈り時期が早くても、整枝までの期間が長く、整枝位置が木化すると翌年収量は減少する。また、深刈りが遅い場合、再生芽が硬化するのを待って整枝すると、翌年収量は減少する。		
茶業部大隅分場	連絡先	099-474-0010

〔背景・ねらい〕

乗用型深刈り機の普及、夏茶の需要増に伴い茶園更新を二番茶後に行う場合が増えている。比較的若い枝条での深刈りは再生芽の生育が早いですが、その後の整枝時期によっては最終摘採時期の前であっても翌年減収となる。そこで二番茶後の深刈り時期に適した整枝時期を明らかにする。

〔成果の内容・特徴〕

- 1 二番茶後深刈りでは、更新間隔が長く、深刈り時期が早いほど再生芽の萌芽期までの日数は長くなるが、再生芽の硬化に要する日数は、深刈り時期による差は少ない。(表1)
- 2 深刈り時期が早い場合、再生芽の出芽数は少ない。さらに整枝までの期間が長いと整枝位置が木化し、秋整枝面の枝条数が少なくなり、翌年の一番茶収量も少なくなる。(表1, 図1)
- 3 深刈り時期が遅い場合、再生芽の出芽数は多いが、硬化を待ち8月3半旬に整枝すると、秋芽の生育量が少なく翌年の二、三番茶収量が少ない。一方、8月1半旬までに整枝すると収量は増加する。(表1, 図1)

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 普及対象地域は、山麓傾斜地帯を除く県内全域の茶栽培地域である。
- 2 深刈り時期が早い場合は、再生芽の整枝部位が木化しない時期に整枝する。
深刈り時期が遅い場合は、再生芽の硬化を待たずに地域の最終摘採時期までに整枝し、整枝後伸長する遅れ芽は、秋整枝予定位置より下でせん除しない。
- 3 茶業部大隅分場「やぶきた」の最終摘採時期は8月1半旬である。
- 4 供試茶園は昭和51年定植、深刈り前と後の樹高は75～49cm(平成14年)、81～59cm(平成15年)、89～59cm(平成16年)である。

〔具体的なデータ〕

表 1 深刈り後の再生芽と秋芽生育

更新間隔 (調査年)	試験区1)	再生芽生育							秋芽生育	
		萌芽期		出芽数 (本)	枝条数 (本)	木化率3) (%)	整枝時		枝条数4) (本)	秋整枝量 (kg/10a)
		～萌芽期2) (日)	～整枝 (日)				整枝面の 茎の状態	整枝量 (kg/10a)		
1年 (平成14年)	6/05-8/09(66)	23	43		16.0		木化		18.0	519
	6/15-8/09(56)	22	33	—	17.3	—	一部木化	—	21.2	414
	6/25-8/09(46)	20	26		19.5				25.7	395
	7/05-8/09(36)	18	18		24.3				26.2	377
2年 (平成15年)	5/30-8/04(66)	28	38	35	21.8	78.6	木化	398	17.8	687
	6/05-7/25(50)		24		32.8	15.5		311	22.7	629
	6/05-8/04(60)	26	34	44	24.3	65.4	一部木化	338	20.3	595
	6/15-8/04(50)		27		23.9	25.8		195	22.2	507
	6/15-8/09(55)	23	32	47	23.1	59.2		232	20.8	529
	6/25-8/04(40)		19		26.1	0.0		119	17.7	630
	6/25-8/09(45)	21	24	55	27.4	2.9		184	22.3	439
	6/25-8/14(50)		29		26.9	19.1		224	19.5	383
2年 (平成16年)	6/05-7/26(51)		26		47.6	14.0		368	41.0	531
	6/05-8/05(61)	25	36	30	41.3	61.0		388	36.2	410
	6/05-8/12(68)		43		35.4	72.0	木化	435	29.8	438
	6/15-8/05(51)		29		47.8	18.0		355	39.0	312
	6/15-8/12(58)	22	32	41	40.8	51.0		395	36.3	395
	6/25-8/05(41)		19		53.7	0.0		200	28.7	357
	6/25-8/12(48)	21	24	39	47.2	10.0		247	30.8	252

- 注) 1. 区名は [深刈り日 - 整枝日 (整枝日まで日数)] を示す。
 2. 再生芽の萌芽期は20×20cm枠内枝条のうち、深刈面から約5cm以内に萌芽した芽のある枝条の割合が70%に達した日。出芽数は各区萌芽期における定芽、不定芽数。
 3. 木化率 = 木化(褐色)部 / 新芽長 × 100
 4. 平成14、15年は秋整枝面の枝条数、平成16年は1回目整枝後21日目の秋芽数

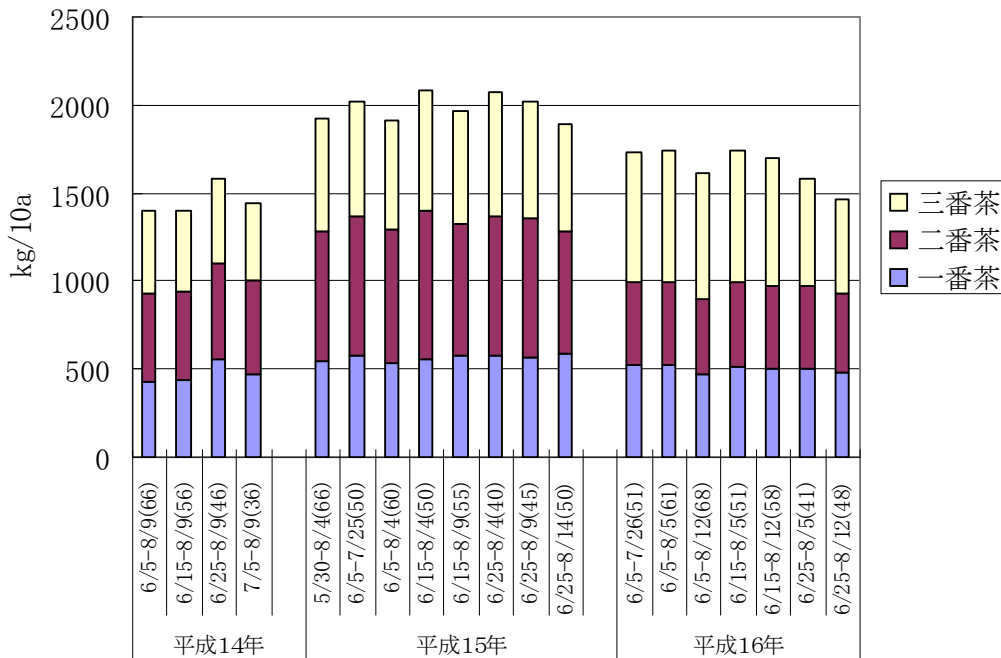


図 1 翌年収量

〔その他〕
 研究課題名：中切り、深刈り等更新後の管理体系試験
 予算区分：県単
 研究期間：平成17年度(平成14～17年度)
 発表論文等：平成14～17年 茶業試験場大隅支場試験成績書